

一般質問 《要旨》

第1回定例会では、2月28日、3月1日、4日の3日間にわたり20人の議員が一般質問を行いました。
各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



岡村 しん

建設業者への 振興策について

問 ①建設業の現状認識は
②今後はどのように考
えているか③住宅リフォー
ム制度の復活を④公契約条
例の検討ができないか。

答 ①厳しい状況②現状よ
り厳しくなる可能性あり
③耐震改修に係るもののみ
で事業化予定なし④市単独
でなく国全体で検討すべき

LGBTQ・SOGIE 対応について

問 ①教職員向け研修は今
後どのように行うのか
②(仮称)人権尊重基本条
例への位置付けは③パート

ナーシップ条例の検討を。

答 ①全教職員を対象とし
た研修を企画②
様々な人権分野があり委員
会で議論いただく③市民意
見を聞きながら考えていく。

災害対策、体育館へエア コン設置、マスクの備蓄

問 ①避難所になる学校体
育館のエアコン整備計
画を策定すべきでは②避難
所の感染症対策として、マ
スクの備蓄をすべきでは。

答 ①関係部署と連携し、
期日までに整備計画を
提出したい②各自での用意
を原則とするが、感染症対
策で備蓄予定。



宮坂 良子

社会参加促進のため 高齢者福祉の充実を

問 ①難聴と認知症との関
係②WHOは41dB、難
聴の障害者手帳基準は③補
聴器は早く利用するのが効
果的、促進のため助成を。

答 ①A A I Cで原因の約
9%と発表②両耳70dB
以上、又は片耳が90dB以上
もう一方が50dB以上③まず
は普及啓発実施が必要。

国保の多子世帯への 軽減を

問 ①5人家族保険税10年
前と今は②子どもの人
数に倍する大きな負担、軽
減の減収分は③子育て支援

として多子世帯への軽減を。
答 ①所得300万円資産
なし30代5人家族で20
年度29万8800円、30年度
37万1200円②約246
万円③国に負担軽減策要望。

子どもの権利条約活かし 児童虐待ゼロへ

問 ①対策ワーカーの相談
件数100件、ワーカー
の増員を②転出入の引継
ぎは③DVと虐待担当の連
携は④未受診者への対応は。

答 ①複合施設移転後に充
実を図る②事業移管の
際に情報を共有③日常業務
等で連携④勧奨通知を送付、
地区担当保健師が訪問。



西村 あつ子

市民サービスの向上へ part3

問 ①公立保育園について
ア充実への考えイ保育
時間は利用年齢の改善を②
学童保育について③指数改
善の状況④増設計画前倒し
を⑤全中学校で女子生徒が
スラックスを選択できる自
由を。

答 ①ア一層の充実が必要
と認識④利用者意見や
ニーズを把握する②ア新年
度10月頃までに改善予定③
計画前倒しはしないが待機
児をなくす方策を検討する
③配慮は必要と認識、校長
会と調整・検討を行いたい。

行き届いた教育環境を

問 ①英語能力やコミュニ
ケーション能力を育む
取り組み②魅力ある学校づ
くりについて③基礎学力を
つける取り組み④学校と地
域との連携、今後のあり方
について。

答 ①T G Gでの中学生の
体験活動、各校A L T
活用等②主体的・対話的な
深い学びの視点での授業改
善が求められる③少人数指
導や東京ベシックドリル
活用、補習学習実施等④地
域の子として協力してい
たく、開かれた関係を築く。



鈴木 えつお

消費税増税に反対を！市 民生活を守る施策充実を！

問 ①ひとり親家庭への経
済的支援を②食糧支援
を進めるフードバンク狛江
への財政支援を③消費税10
%増税に反対を。

答 ①子育て応援プランの
改定の中で検討②子育
て応援プランの改定の中で
検討③社会保障財源確保の
ため必要な措置と考える。

南部地域に見守り・相談・ 交流・福祉の拠点を

問 南部地域でも身近な相
談窓口充実の要望が強い。
子どもから高齢者まで
見守り、相談、交流できる
ところを進めたい。

福祉の拠点の早急な開設を。
答 市における地域共生社
会実現に向けた包括的
支援体制を検討する中で、
財政的配慮も行いながら方
策を練っていききたい。

要望の強い南部地域の バス交通の利便改善を

問 こまバスと喜多見団地
行きバスの重なるの改
善など交通利便改善を求め
る署名が500筆寄せられ
ている。その後の動きは。

答 要望事項の進展はない
が地域公共交通会議の
中で改めて要望をした。事
業者と連携してできるとこ
ろから進めたい。



小野寺 克己

自転車の安全利用促進と 環境整備について

問 ①いちよう通り等は2
本の整備済みの都道を
結ぶ道路。自転車ナビマー
ク優先道路と考えるが見解
を伺う

答 ①交通量の多い交差点への
青信号の時間が延長できる
交通弱者用の押しボタン信
号機の設置について。

マイナンバーカードの 活用について

問 ①2020年度に実施
予定のマイナンバー
カードを活用した消費活性
化策への対応状況について

答 ①カードを活用した消
費活性化策については
国から情報提供されている
ところであり、適宜情報取
集している②今後の状況等
を注視しながら、活用方法
等を検討する。情報化につ
いて総合的に推進できるよ
うな体制を検討する。



石川 和広

誰もが安心して暮らし 続けられる狛江に向けて

問 ①認知症の予防及び早
期発見への取り組みは
②認知症診断費の公費助成
の考えは③医療的ケア児に
対する市の支援は④図書館
における大活字図書とL L
ブックの蔵書は⑤交通安全
意識啓発への標語活用は。

答 ①認知症予防講座やも
の忘れ相談会開催②調
査研究を進める③平成29年
度より重症心身障がい児
(者)等在宅レスパイト事業
実施④大活字図書2168
冊、L Lブック6冊⑤関係
機関と調整の上検討したい。

施設の利用及び申し込み について

問 ①施設予約システム
導入目的は②公民館で
の調整会における課題は③
施設マネジメントの視点か
ら各施設ごとの稼働率把握
が必要では④無断キャンセル
防止の観点からのペナル
ティー制に対する考えは。

答 ①利用者の利便性を図
るため②会社勤めの方
交渉が苦手な方は調整会に
お越しいただけないことが
課題③検討していく④ペナ
ルティーはあるが、引き続
き常識的な利用をお願いし
ていく。



亀 井和美

5歳以下児の災害対策 について

問 ①避難所運営協議会に
よる特徴ある活動②幼
稚園・地域センターでの避
難訓練の必要性③課題の多
い福祉避難所における今後
の改善点④液体ミルクの必
要性について市の見解⑤液
体ミルクの周知。

答 ①備蓄倉庫の自主的
確認・整理、児童生徒向け
資機材の講習等②次年度以
降の実施に向け調整③段階
的に市内事業所等と職員派
遣の協定締結を目指し調整
④有用性を認識。備蓄を検
討⑤健診時等で周知したい。

いのちを守る「がん教育」 について

問 ①がん教育に対する教
育委員会の認識②外部
講師に医師を招いて行った
授業の評価③教職員に対す
る研修の実施状況④「東京
都がん教育推進協議会」提
言を踏まえた取り組み。

答 ①健康に関する基礎的
必要がある②がんのイメ
ジが変わった、早期発見し
たい等の生徒の感想③文科
省での研修に小中から各1
名、都の研修に2名参加④
実践事例の共有、外部講師
の活用。会議体設置の研究。